

第55回東日本学生体操競技選手権大会

感染拡大防止ガイドライン

期 日

2022年 5月19日（木）～ 5月21日（土）

会 場

高崎アリーナ

〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4丁目1番地18号

【ガイドライン策定の趣旨】

昨今の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・(公財)日本体操協会(JGA)・群馬県・高崎市・開催施設のガイドラインに沿って、本大会開催における感染拡大防止ガイドラインを策定する。

このガイドラインによって、競技会への参加者(以下、「参加者」とは選手、指導者、チームスタッフ、審判員、運営スタッフなど、競技会場内で競技に直接的、間接的に関わる者を指す。観客、報道関係者、視察関係者、施設管理者は除く。)および、会場への入場者(以下、「入場者」とは、観客、報道関係者、視察関係者など、参加者以外の者を指す。)の感染症拡大の予防を適切に行っていくことが求められる(以下、「参加者」と「入場者」を「入館者」とする。)

感染拡大防止のためには、参加者・入場者各自が通常的生活、特に大会期間前後約2週間においては、十分な防止対策を講じていることが大前提である。その上で、大会期間中における感染拡大防止の目標は、「①参加者・入場者を感染から守るために、感染者や感染の疑いのある人を可能な限り排除すること」と、「②感染者が発生した場合に、その濃厚接触者とならない・させないこと」である。そのためには、参加者すべてが、本ガイドラインを十分に理解し、ここに示された適切な行動をとることが必要となる。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しているため、今後見直すこともあり得る。

【入館者の制限】

・「参加者」は入館できる

・観客として入館できる者は、参加大学の部員(全日本学連加盟者)、および、出場選手1名につき保護者1名のみとし、事前の届け出によって入館できる。

・報道関係者・視察関係者は必要な手続き・許可を得て入館できる。

・その他の者は入館できない。

【全般的な遵守と注意事項】

- ・マスクを持参し着用すること。
- ・三密(密閉・密集・密接)を避けること。
- ・こまめに手洗い、手指消毒、うがいを行なうこと。
- ・体育館内では、密とならない距離を確保すること。

- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

【大会前の健康状態の把握と提出書類】

- ・すべての入館者は、大会2週間前※から「体調管理および行動歴記録表（様式1-1）」（または、「JGA 体調管理検温表」）を用いて、健康観察を適切に行わなければならない。※JGAの4月1日版ガイドラインでは、大会1週間前からとなっているが本大会は2週間前からお願いしたい。
- ・すべての入館者は、様式1をもとに「参加同意書・健康チェックリスト（様式2）」を作成し、最初の入館時に提出しなければならない。
- ・入館するすべての学生は、保護者による参加への承諾が必要となる（様式2への署名）。
- ・保護者・参加者以外の学生の入館は、各大学で取りまとめて予め届出書（様式6）を提出する必要がある。入館時に各々受付に様式2を提出することとする。

【体育館への入館】

- ・入館者は提出書類（様式2）を準備し、係の指示に従う。
- ・入館手続きは、検温→消毒→受付（様式2の提出）とする。
- ・受付の効率化を図るため、大学ごとにまとまった入館をお願いする。
 - * 体調不良（発熱・咳・のどの痛み等）がある場合は入館を認めない。
 - * 「提出書類」に記載の個人情報、感染発生時の所在情報確認に活用する。個人情報に関する法令を遵守する。
- ・すべての入館者にIDカードを発行する。

【観客席の入場制限と座席の配置】

- ・ID保持者のみが観客席に入場できる。
- ・大学ごとの指定席とする。
 - （座席の配置については、別途通達する。）
- ・鳴り物の器具による応援は禁止とする。

【体育館内での飲食】

- ・指定された場所を利用する。
- ・密とならない距離を保って対面を避け、黙食を原則とする。

- ・空箱等の後始末を適切に行う。

【トイレ】

- ・使用するトイレを指定することがある。
- ・出入りは消毒の徹底をする。

【更衣室】

- ・指定された更衣室を使用し、密とならない距離を保ち使用する。
- ・混雑時の使用はさける。
- ・出入りは消毒の徹底をする。
- ・マスクを着用し、短時間での使用を心掛ける。
- ・シャワーは原則として使用しない。
- ・ロッカーに荷物を放置しない。

【炭酸マグネシウム・共有物】

- ・競技場内および練習場に炭酸マグネシウムは設置しない。
- ・炭酸マグネシウムは各大学（各選手）が用意し、その使用に際しては床面やマットを汚さないよう注意する。
- ・チーム等で共有するもの（雑巾、霧吹き等）は、できるだけ選手別に用意し、他チームとの共用は避ける。
- ・タオルは共用しない。

【コーチ】

- ・競技会場での選手へのアドバイス、伝達では濃厚接触を控える。
- ・選手への幫助は不測の事態以外は控えめに行う。
- ・タッチや握手は禁止する。
- ・ミーティングは 15 分を超えないよう注意する。

【トレーナー】

- ・治療行為は濃厚接触に該当するので衛生管理に十分注意する。
- ・治療場所では他の人との密とならない距離を保つようにする。

- ・選手の健康状態の異常(発熱・咳・のどの痛み等)には常に注意を払う。
- ・競技中に異常状態が発生した場合は、審判長に速やかに連絡する。

【審判】

- ・審判、補助役員ともにマスクを着用し、衛生管理の徹底を図る
- ・補助役員の濃厚接触を避ける。
- ・審判席は適切な間隔を保つよう設置する。
(必要に応じて、アクリル板等を使用する予定)

【監督会議】

- ・マスクを着用する。
- ・会議室への入退出時はアルコール消毒を必ず行う。
- ・座席間の距離を適切に保つ。
- ・各大学男女別に1名の出席とする。
- ・事前に会議資料を配布し、説明は極力省略する。

【審判会議】

- ・マスクを着用する。
- ・会議室への入退出時はアルコール消毒を必ず行う。
- ・座席間の距離を適切に保つ。
- ・審判打ち合わせは濃厚接触を避け、大声は控えるよう注意する。

【セッティング・カッティング】

- ・必要最低限の人数で行う。
- ・セッティング・カッティング時にはマスク・手袋を着用する。
- ・セッティング終了後は、必要に応じて器具のアルコール消毒を行う。

【閉会式】

- ・出場選手は、観覧席にて全員参加すること。(予定)
- ・賞状等は、閉会式終了後に本部席にて授与する。

【参加者の行動全般】

- ・大会期間中は感染拡大防止対策に注意を払って生活をする。
- ・大会期間中は飲食を伴う会合や懇親会等を控える。
- ・参加者の体育館内での行動を把握するため、「体育館内での行動表（様式 3）」を記録し、各大学で回収・保管する。
- ・開催地への移動・宿泊等に関しては、各大学で参加者の行動を十分に管理する。

【不測の事態発生時の対応】

- ・参加者にコロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、高崎市の衛生部局と連絡を取り、大会本部にも速やかに報告する。
- ・競技会場で体調不良者が発生した場合は、本部・救護担当に報告し、隔離対策を施したうえで医師の指示を受ける。

【その他】

- ・衛生管理への協力
 - ・感染予防グッズ（消毒液等）は各自で持参する。
 - ・自分の使った場所（選手席・観客席等）の消毒・清掃を行う。
 - ・ゴミは持ち帰る。

※本ガイドラインに示した作成・提出書類（様式 1、2、3、6）は、後日HPに掲載する。その他、参加者全員に作成・提出を求める書類がある。

これについては別途通達し、HPに掲載する。

※本ガイドラインに記載されていない必要な事項については、別途通達する。

※本ガイドラインに違反した行動には厳しく対応する。

以上